



中学生ロボコン in 航空高専

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

去年の12月中旬から暮れまで3日間、新年に4日間合計7日間かけて荒川、北、板橋区の中学生が、航空高専（現産技高専）に来てロボットをつくりました。約50人（13チーム）の中学生を本校のロボット研究同好会（ロボ研）の学生20人がロボットづくりを指導しました。アイデア出しからはじめて、設計、製図、部品加工、組立、調整、改良そして、1月14日（日）に本校でロボットコンテストを行いました。コントローラーも自分でつくります。機械と電子両方をロボットづくりの中で学んでもらいました。朝9時から夕方4時までの予定でしたが、実際は大変寒い中9時前から5時、6時まで熱心にもものづくりに励みました。

本大会には荒川区、北区の教育長をはじめ地域企業の社長さん、学校関係者、中学生の家族などたくさんの方々

が観戦・応援にみえました。この模様は東京新聞1月16日（火）付け朝刊に写真入りで報じられています。また荒川CATVも取材にみえました。近いうちに放映されると思います。

競技テーマを少し説明します。斜面に穴を開けてあります。難しいところは点数が高いのですが、ピンポン球を入れて点数を競うものです。打ち出し式、アーム式等いろいろなアイデアを競いました。今年で6回目ですが年々レベルが上がっています。

惜しくも負けたチームは雪辱を果たすことができるかどうか再試合を2回行います。2回目は、2月3日（土）午前中マシンを改良して、13時から15時まで、北区王子の教育未来館で再度エキシビジョンマッチを行います。

また3回めは、3月11日（日）10時から12時まで南千住の総合スポーツセンターでの荒川区産業展。さらにもう一度ロボコンを行います。

中学生がつくったロボットをこれらのエキシビジョンマッチで見に来ませんか。本当の高専ロボコンと同じように盛り上がります。今回の中学生たちのロボットは完成度が高く、中学生でもこんなアイデアがでるのか！

また、よくつくれたものだ！と感心することが多いと思います。



杉田玄白と小塚原の仕置場展

荒川ふるさと文化館（南千住6丁目）では、2月10日（土）～3月11日（日）まで、近代医学発祥の地として知られる小塚原の仕置場跡（南千住5丁目、区指定史跡）を取り上げた企画展「杉田玄白と小塚原の仕置場」を開催します。

杉田玄白らにオランダ語の医学書「ターヘルアナトミア」の翻刻と「解体新書」の出版を決意させるきっかけとなった解剖見学の場所が、小塚原であることは、歴史の教科書にも登場し、よく知られるところです。ところで、日本の医学史上記念すべき解剖の舞台は、なぜ小塚原の仕置場でなければならなかったのでしょうか？本展は、この素朴な疑問から出発し、玄白らの活動を追うと同時に、仕置場が機能していた近世という時代、史跡と認識され始めた近代、さらに観光資源としても注目されるようになった今日に至るまでの歴史

的な経緯を、古文書や絵図、古写真などの資料を通じて明らかにしていきます。

なお、展示資料の一つ「南千住コッソ通り縁日サービスデーのちらし」は、当・メガネのサトウ所蔵品です。（日本紙第4号にてご紹介しました）。

ご高覧頂ければ幸いです。

本展に関連して、記念講演会やギャラリートーク、史跡めぐりなど催しも併せて行われます。私たちの身近な史跡・文化財から地域を見つめ直すまたとない機会です。

お問い合わせは、荒川ふるさと文化館・TEL03（3807）9234 へどうぞ。

【消費生活アドバイザー】

佐藤 祐一郎



◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13 コッソ通り TEL03（3806）4930

★営業時間のご案内★

平日・土曜：AM10時～PM7時30分
日曜・祝日：AM11時～PM6時30分

◎1月28日、2月2日、12日、22日は休業日でございます。1月27日は午後2時より営業いたします。

◎【読者限定・資料展示記念】メガネのサトウにて、ふるさと文化館の入場券をプレゼント。先着10名様、御一家族様1枚とさせていただきます。お気軽にお申しつけ下さい。